

何度目かの射●を終えた俺は
雑巾と言いつけるほどに
汚れた女を見下ろした

た……助け、て……
助けて……
お、お願い……
許して、ください……

よきみちの
横道梨乃は
虚ろな目のままで
懇願し続けていた

助けて、か
俺もそうだった
でもな、誰も助けて
くれなかったよ

フ
キヤアア……

半年ほど前
帰宅ラッシュの電車の中で
俺はこの女に痴漢の冤罪にかけられ
示談金として金を払うように仕向けられた

本来ならばそれで終わりのはずだったが
間の悪いことに、俺はその現場を
当時の上司に見られてしまい
事実無根なのに会社を追われた

俺は精神を病み、無気力になり
収入も途絶え、気づけば
目々の食事すらまともに取れない
浮浪者になっていた





俺はポケットに潜ませていた
小瓶を手に取り
口につけ、一気にあおった

こいつがなければ
きつと俺はもう生きていなかった
梨乃に報復しようという気にも
ならなかっただろう

ゆるして……
もお……
うあ……あ……
だ、れかあ……
助けて……

助けて助けて
うるさいな……
そろそろ本題に
入るとするか

カクカク

カクカク

カクカク

カクカク

カクカク



うえっ……
まったく
なんて味だよ……

っあ……ああ……
や、だあ……
も、いやああ……

はあはあ……、ふ、ふひひ……
出してやる、出してやるぞ……
これで、最後だ……

んあ……ああ……
さ、最後……
や、やっと……終わる……
うあ、ああああ……

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

ぞ

ぞ

ドギツ

あ、ああ
気持ちいいよお……
ふひひ……梨乃ちゃん
奥でたっぷり出してやる

は、はい……
出しています……
出しています、からあ……
も、もお
終わらせて、ください……

いいんだ？
エッチだね、変態だねえ
やっぱ淫乱だ

それなのに、俺から
金を巻き上げるなんて悪い子だあ
そ、そんな女の子は……
きつちりお仕置きしてあげないと、なあ

ドギツ

ドギツ

ドギツ



おか、ね……？
あ、あなた……
私が駆除した……
オヤジのひとり……？

駆除、か……
そうだったのか……
だったら俺が
梨乃ちゃんを駆除しても
問題ないよなあ？

な、なにを……
で、できるものなら……
やってみれば……っ

それじゃあ
できるかできないか
やってみようか

っ

ブクッ

っ

ブクッ



つ…………あ、うあ…………つ
ああああああああ……

出る、出る出る……
出すぞお…………つ



はぁ

はぁ
はぁ
はぁ

なにも起こらな
ら
やっぱり……
騙されたんだ

はぁ……
終わり、でしょ……？
終わったなら、どいて……
もう、かかわらないで……

……まだ、だ

そ、そんな……

う……

おっぱい

視界の景色がぐるぐる回り
俺は意識を失っていた

お前さんがなにを思って
命を絶つつもりかは知らん
だが、もう1度
人生をやり直すつもりはないか

なんだったんだろう
あの身なりの綺麗な
不思議な男は……

私の手にはとある薬がある
こいつは、他人とお前さんとを
入れ替える効果がある物だ

そんな与太話に
縋ってしまった……



え……これ
どういふこと……？
どうして……、どうして
私に私が見えるの……？

う……ん……
え……っ？

俺が目の前にいる
だと……？

びん

ふふふ……

あの男が言ってた通り
入れ替えは実際に起こった

な、なにがおかしいんですか
早く元に戻してくださいっ……
そもそもあなたは誰なんですか……

誰って
見れば分かるだろ？
梨乃だよ、横道梨乃

そしてお前は
梨乃を襲っていた
浮浪者の白根穰しらねみのるだ

っ……そんな……

んんんんん

どうです？
浮浪者になった
気持ちは？

お前……あなたに
私は、その生活を
強いられてきたん
ですからね？

回調が難しいな

そんな
だからってこんな……
ひどい……

身から出たサビ
元々お前が悪いんだろ？
さあ、とっとと行けよ

それとも、人を呼ぶ？
いたいけな女の子を
力で押さえつけて
欲望の限りを尽くした
強●者にさせてやろうか

俺の脅しに種になった梨乃は
足をもつれさせながら立ちあがると
そのまま走り去って行った

ふ……
ふひひひひひ
ひひひひっ……

楽しみにしてろよ
梨乃ちゃん

自宅、通っている学園の所在
その通学時刻及び、通学方法
現地に行かないと
分からないこと以外は
だいたい調べた

お前の人生を
めちゃくちやに
してやる



さて
この肉汁まみれの身体を
なんとかしないよ

手っ取り早く近くの水飲み場で洗うか
いや、水で洗うなら
誰かに洗ってもらおう方法があるな

そう思っていた俺の前を
スーツを着た男が
通りすぎていった

待ってください
あの、少しお願いがあるんです
実は汚れてしまった場所があつて
でも手があまり届かない場所で
このままだと帰りづらくて

ん？
俺になんとかして欲しいのかな
よし、分かったよ
ハンカチを濡らして拭いてあげよう



それじゃあ
水飲み場に行こうか

ここって……
な、なんだこれ
新手の援をとりつける
方法なのか？

ありがとうございます
洗って欲しいのは
ここです

ばっ

さっき、言いました
ただ洗って欲しいだけって
ね、見ておじさん……

ばっ
ばっ

よ、よし
分かった

おじさん？

いや
外側も洗わないと

そうですけど
欲しいのは
そこじゃないです

あ、ああ
分かってるさ

まったく
おとなしそうな顔して
中身はとんでもない子だな

女の子ですから



ふ、ふふふ……
それじゃあ
欲しがってる場所に
送り込んであげようっ

んあ……
はあ、んっ!

まったくどれだけ
出されたんだい?
かき出してもかき出して
出てくるじゃないか

ふあぁっ!!

女の身体って
こんなにも感じる
ものなのか
予想外、すぎるっ

まあ、これほどに
敏感な中ならば
彼氏がむしゃぶりつくのも
うなずけるがな



彼氏……？
彼氏なんて
いいません……
あ、んんっ

ひい、あつ
あああ……
ダメ、声、出る……
んああっ！

は、ははは、いい声だよ
おかげでおじさんのモノも
太く硬くなってきたところさ

いないのにこんなになるまで
セックスしてたのか
まったく……君は
とんでもなくいやらしい
女の子だよっ

ああ、君も感じているんだな
おじさんの指にキュウキュウ
吸いついてくる



気持ちいいっ
ひっ、はあ……
はああんっ！

もうかい？
いいよ、いいよっ……！
イツちゃっえ
ほら、ほらあっ……

いっとなにが起こってるんだ
触られ始めてから
まだほんの少ししか経ってない

んあっ……あ、あああ……
ダメ、ダメえ……っ
イクッ、イクからあっ……

あっ、ああ……
イクッ、イクうっ……

イクッ
イクッ
イクッ
イクッ



今度は俺も
気持ちよくしてくれるかい
君のおかげで
こっちも限界なんだ

ほら
しゃぶってくれよ

んんん...
んんんっ!

んっむうっ...!!

んんんん!

んんんん!

んんんん!

んんん!



お互いに
気持ちよくなろう

なに勝手なことを言ってるんだ
だが……今はそれにノってやるよ
これも梨乃を貶めるために必要なこと

ん、ちゅ……ちゅぽ
んっ、ちゅぽ、ちゅぽう……

あ、ああ……
うますぎる……
く、まるで男のツボを
心得ているみたいだよ……

んっ、んちゅ
ちゅぽ、ちゅぽお……
んっ、ちゅう……

くああ……それ、いい……
吸い込まれる感触、最高だよ
そ、それじゃあ俺も
負けてられないな





んうう……んんーっ!
つぶあ……あ、ああ……
イクッ、イツちやう
イツちやうう……

あ、ああ……いいよ
俺も、く、ああ……
で、出る……

はあ……んっ、あん……
か、顔にかけなくても
いいじゃないですか……

ああ、ごめん
飲みたかったか……

それにしても
指でこれか……

俺は男と別れて
梨乃の家へ向かった



光も人影もない
ということは
梨乃の両親は不在だ

好都合

家中を歩き回り
間取りを把握すると
風呂の浴槽には
湯が張られていた

あ、ああ……
風呂だ
久しぶりの風呂……

まずは……、洗おう……
そして、湯に浸かろう……





ふわっふわっ.....

ふあっ.....!
自分で触っても
すごい.....



んんあつ、あああ……
な、なにこれえ……
こ、こんな、こんなあ……
あうっ、はあああんっ!

あっ♡

しゅわ♡♡

しゅわ♡♡

しゅわ♡♡

しゅわ♡♡

あっ♡

しゅわ♡♡

しゅわ♡♡

あつ、んうっ
はあんっ!
すごい、女、すごい

あっ♡

あ、ああ……
な、なにが……
なに、これえ……

はあ……ん
はあ……、はあ……
こんなの……
男じゃ、味わえない……

まよ……♡

はま、
はま、

まよ

はま、

快楽の波が引く時間が
男と比べてはるかに長く緩やかで
今こうしている間でも
快楽が全身を満たしている

まよ

しかもその快楽は意地悪なことに
すぐにでも気持ちいいものを欲しがらせ
刺激した×××
そして一番最初に刺激した
乳首を疼かせてくる

だったら
あげる……っ

おぎ

おぎ
おぎ

おぎ

おぎ

おぎ
おぎ

おぎ
おぎ

ん……あああっ！
はあ……はあ……
んっすっ……っ

おぎ

まさか自分の摩擦音で興奮してイクとは
女っ、女って、すげえ

はあ……ん
あ……はあ……
女ってエロいよお……

はあ♡♡

イク

ん

はあ♡♡

ん

んああ……
気持ち、いいよお……
あっ、あああ……
イクッ、イクうらッ……

イク

ん

イク

イク

ん♡♡

ん♡♡

ん





頭の中が真っ白になった
なにも考えられない
もしも感じる事が
できるものがあるとするば
それは快樂

はあ……はあ、ん……
あ、あっ、んんっ……
もっと、欲しい……
んっ、んん……

んんん

あ……

んんん

はあ

んんん

んんん

久しぶりの湯船に
浸かるはずだったのに……
女って
気持ちよすぎるだろ……



ん、んん……
ふふ……
さっっ……お……

くた……

……

……

気づけば、秘部から漏れ出すのは
愛液だけになっていた
だが、そんな状態になっても物足りない
中身が男であるにもかかわらず
俺は誘い込むべきモノがないことに
胸を切なくさせてしまっていた



明けて翌日
俺は梨乃になりきるには
欠かせない学園への
登校をしていた

お？

梨乃と同じ学園に通っているだろう
制服姿の男の子の姿が目に入った
背格好からして下級生ってところだろう

よし
あの子にするか

俺は目をつけた
男の子に向かって
近づいていった

あーあ

おはよ

んん

お、おはよう
ございます

あの……
当たって、ます

なにが？

な、なにがって……
せ、先輩……
だ、だから……
あ、えっと……

んん

んん



ね、なにが
当たってるの？

その……

ニャッ
ニャッ

ふふひひ……
楽しい、楽しいぞ

すっかり大きく
なっちゃったね

せ、先輩がそうしたんじゃ
ないですか
からかうのやめてください

からかってないよ

ニャッ
ニャッ

ニャッ
ニャッ

ね、どうしようか、これ
このまま精●出しちゃう？
それともズボンの中に戻す？

え、あの……
せ、先輩……いったい
どうしたんですか……

ぼくの知る先輩は
こんなことする人じゃ……
あうっ

この口ぶりは
梨乃を知っている
後輩だったか

それならそれでちやうどいら
俺が作り出す梨乃を
この男の子に植えつけてやる

ふふ……



せ、先輩……
あ、あ……ああ……つ

そんな気持ちよさそうな
声出したら
見つかったら
見つかっちゃうよ

せ、先輩……ダメ
見つかる……
あ、うう……

ふふ、かわいいお漏らし
もうやめられないよね
気持ちよくなっちゃうお
ね？



ふふ、いっっぱい
出されちゃった

ご、ごめんなさい……
先輩の手
気持ちよすぎて……

いいよ
だって、エッチしたの
私からだもの

くそ、なんなんだこの感覚は
お腹の奥がなにかを訴えるように
疼いて、男のモノを割れ目の奥の奥に
ぶちこませたくてたまらなくなってる



これは演技じゃない
梨乃の身体が
そうさせてるんだ

あの、先輩……
もしかして、欲しいんですか？
いいえ、もらってください
ぼくの、童貞……

ふふ……
そっか

これも女としての役得か
らいぜ、もらってやるよ

場所をどこにしようかと
電車の中を見回すと
明らかにニヤけている
2人の男達に目がとまった



あの2人は
気づいているな……
3人を相手にすればいいか

どうやら
気づかれて
いたみたい

あ……
ど、どうしよう先輩
ぼく、どうしたら……

慌てないの
大丈夫、私に任せて
行きましょ

俺は男達に近づく

気づいていたんですよね？
私とこの子のこと

だったら？
なに？
相手してくれるの？



いいですよ
しましうか
セックス

なんだよ
これ……

マジかよ……

先輩……そんな
いったいどうしたんですか
ぼくの知ってる先輩は
こんなことするようない
人じゃ……

簡単なことだろ
お前が知ってる先輩は
表面上だけだった

んんん

あ……
あ……



ただそれだけだ

んんっ……

いいね
いいよ、あんたの中
きっちり濡れていて
よおくほぐれてる
男ウケする、エロ穴だよ

やはりそうか
すでに梨乃の身体は
開花している
この、淫乱が

それじゃあ動かすぜ
その童貞くん
しっかり見とけよ
セックスするのは
こうするんだ

んあ……あ
ふ……あ……んんっ
すご、気持ちいい……
あっ、ん……はあああ……

あっ♡

はは、いい顔してるよ、あなた
って、お前ばっか
楽しんでないで
早くオレ達にもやらせろよな

あっ♡

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん

あっ♡

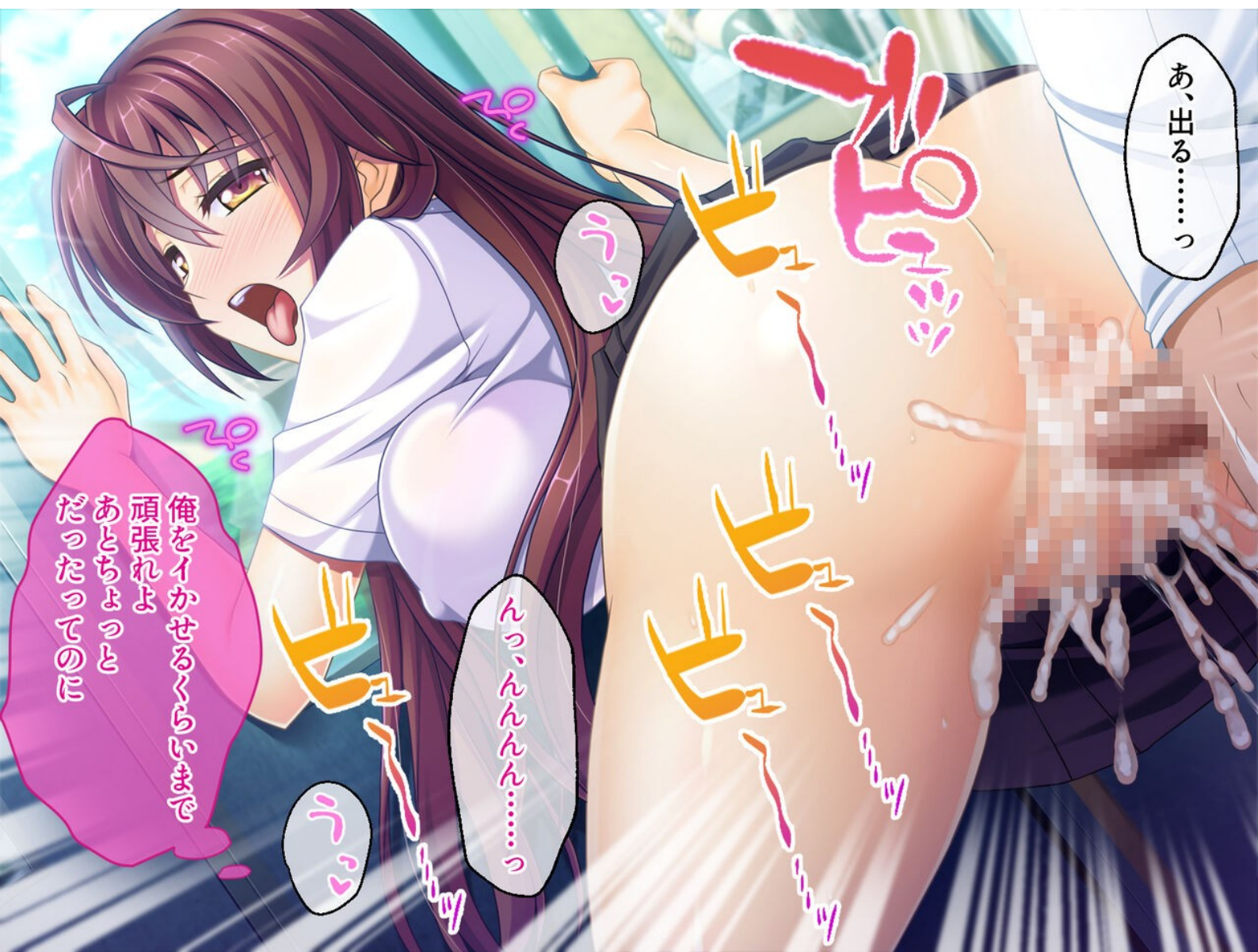
分かってるよ
んじゃ、痴女ちゃん
いくぜ

ふあ……
あっ、あああ……
っ……んんっ！

あふっ……んああ……
いいいい……
すっごう……

あ、あああ……
イ、イきそ
イツちゃん……





あ、出る……っ

んっ、んんん……っ

俺をイカせるくらいまで
頑張れよ
あとちよっと
だったってのに

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

それにしても
早かったな
早漏か？

はぁ♡

そういうことにして
おいてやるさ

ちげえよ
こいつがよすぎるんだ
ったくかわいい顔して
中身は超ド級のスケベとはな

な、なんでもいいから
次、きて……
イきかてるんだからあ

はぁ♡

早く……ふさいで……
私のココに
ぶっとい栓、してえ……

うぎゅぎゅ

うぎゅぎゅ

おんおん

そんな
がつつくなつて
今、してやるよっ

あっ

はっ
はっ
はっ

ふあ……っ
んんっ！

はっ
はっ

こいつは……っ
エッチなお勉強の
しすぎだよ……

めちやくちやに
吸いつきやがって
このエロ女っ……

あっ

はっ
はっ

あっ

あ、あんんっ……あ、はあ
はうっ、あううっ……
イクッ、イツちやう……
あっ、あっ、あああああ……





くあっ
し、締めるな
出る、出ちまう……っ

私も、私も……
イクッ、イツちやうの
精●で
イかせてえええ……

いまままま
いまままま
いまままま

ドクドク

ジュジュ

ドクドク

ジュジュ



こいつは
マジでたまらん
まったく女の絶頂は
恐ろしい

はま〜♡

はま〜♡

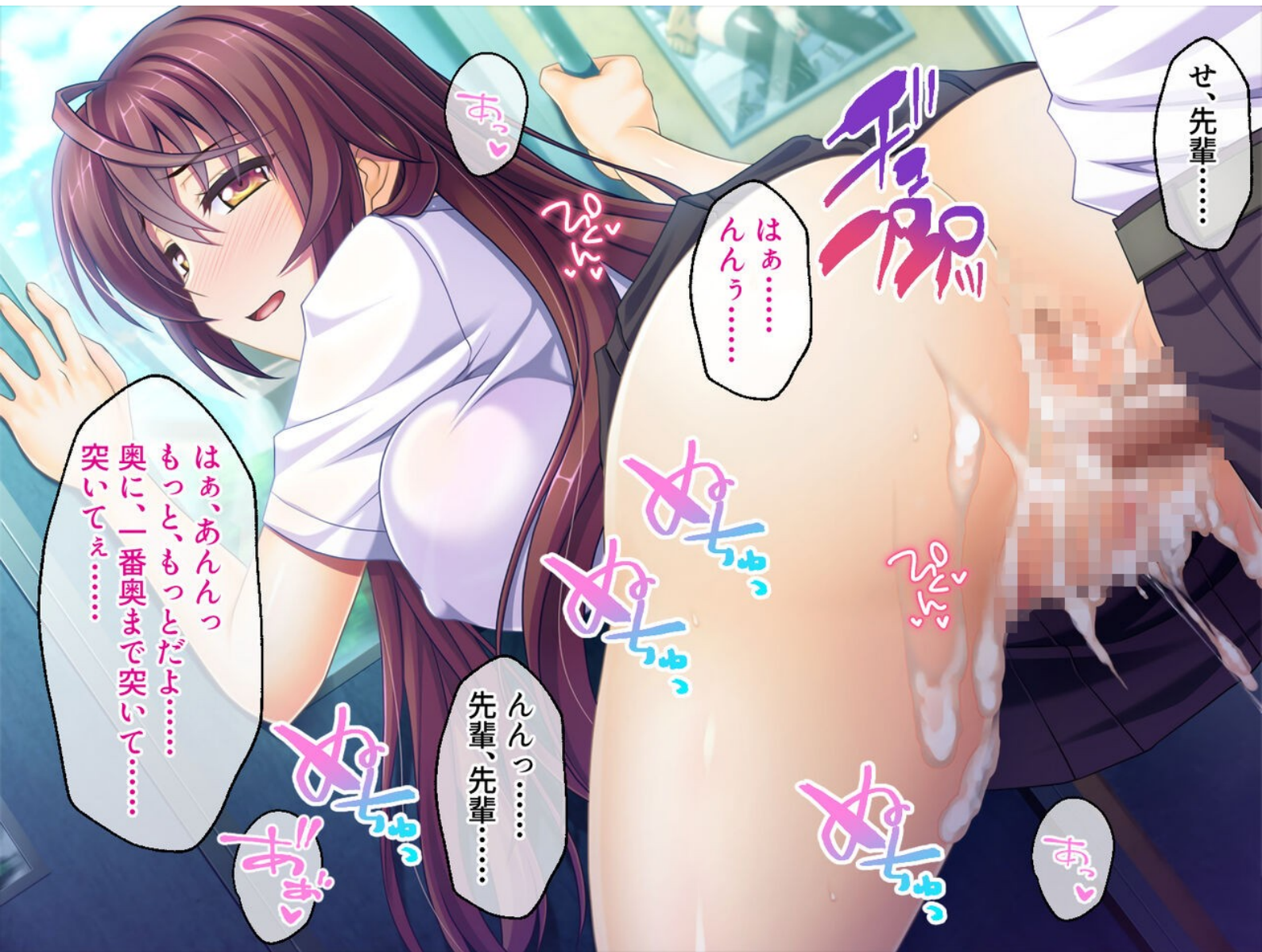
え、いえ……
だから、ぼくは……

さて、最後だな

シよ？
エッチで
気持ちいいこと……

ひん

ひん



せ、先輩……

はあ……
んんう……

んんう

んんう

んんう

ぬちゅっ
ぬちゅっ

ぬちゅっ

んんっ……
先輩、先輩……

あっ♡

ぬちゅっ
おま♡

はあ、あんんっ
もっも、もっもだよ……
奥に、一番奥まで突いて……
突いてえ……



先輩、先輩……
気持ちいい……
あ、くううう……

俺は男の子の長い射●を
受け止めながら
その快感に酔いしれた

しばらくすると
電車が学園の最寄駅に到着する
俺と下級生の男の子は
男達と別れ電車をあとにして
学園に着くとそのまま屋上へ向かった

ふふ
まだ大きいまま……

はぁ♡

はぁ♡

先輩、先輩……
はぁ……、あ……
気持ちいい
気持ちいいです……

蕩けそう、ぼく
先輩に蕩けて
しまいそう……

はぁ♡



きゅ♡



せ、先輩……っ

あっ♡

ゆき
んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡

んっ♡

はぁ……んっ……
精●……んっ
あ、あはぁ……

あっ♡

ゆき

先輩……っ
あっ、あぁぁ……



まだ、できるよね
だって、あなたの
まだまだガッチガチだよ
ね、続きしよ？

せ、先輩っ……！
う、ああ……

んっ……ほらほら
私ばかりに動かしたら
ダメでしょ？
あなたは、男の子なんだから
ね……

先輩……
はい……っ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



せ、先輩……っ

んんう、はあ……あうっ
はあ、あつ、はああんっ！
やだ、これイイ……
気持ちいい……っ！

いいいよ出して
私も……私も
イクからあ……

出して……
あなたの精●
味わわせて……

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



せ、先輩……
それじゃっ
出る……

先輩……
し、締めすぎです……
あ、ああああ……



はあ……
ん、んう……
はあ、はあ……

……あの先輩
また相手して
もらえますか？

はま……♡

はま……♡

約束はできないけど
気が向いたら、ね

ん……♡

午後の授業を終え
俺は公園へと足を運んでいた

セックスはできたし
男との違いというのも分かった
これなら俺も楽しみながら
梨乃の淫らさを広められるだろう

そうなれば
人数が増えてくるよな

そうだった時に
俺なら間違いなく
ケツの穴にぶちこむ

開発しておかないと
えっと——

俺は公園を歩きながら
手ごろな男を探し
ベンチに座っている
サラリーマンを見つけた

おじさん、あの……
私とセックスしてください
お尻で

俺は手にしていた
スカートを
大きく持ち上げた

縦……、スジ……？

か、金ならないぞ

要りません

そ、そうか……
じゃあ

ん、ん、ん



んんっ……
あ、あの……
こっちじゃなくて……

んんっ
んんっ

はぎ♡

あんた
ア●ルセックス
したことあるのかい？

はぎ♡

ないですけど……

おっ
おっ

はぎ♡

んんっ





あゝ♡

はあう……んっ
んあ……あんんっ!

んんん♡

へえ、感じやすいんだ?
そりゃ、痴女になってでも
やりたくもなるよな

それならなおのこと
湿らさないとだろ
痛がってる女の子を
見続ける趣味はないんだ

んんん♡
んんん♡
んんん♡

いいじゃないですか
それより
充分に濡れましたよね

グググ

そりや、まあ……
仕方ないな
よし、いくぜ

ズ
ズ
ズ

ズ

ズ

ぎ、うらっ……
あ、ぐ……あ……
く、苦し……
苦し……



こっちがいいと
言ったのは
君だろっ

ズッ

あ、ぐ……
ああああっ……

ツ……
あ……あ……
あああっ……

よし
入ったぞ

ハキッ
ハキッ
ハキッ

ハキッ
ハキッ
ハキッ

お、おお……
なんだ、これ……
ずいぶんと気持ちいい
じゃないか……っ

やめ……
ぐ、あつ、あぐう……
やめて、やめてええ……

うっ

あ……あ
が……う……
あ、あああ……

今さらやめられるか、よ
くっ、おっ……うう……
すっげ……くう……

うっ
フッ
フッ
フッ

ん

それにな、痛いなら
少し力を抜いてみたらどうだ
さっきから穴の入り口が
ギチギチに縮んで
動かしづらいんだよ

力を……っ……
ん……はあ、はあ……
はあうっ!?

んっ、くっ……
はあ、あっ、んんっ!

は、はは……マジか……
くっそエロい女だなっ

こんなすぐに
ケツで感じ始めるなんて
なあっ!!

ズキ!
ズキ!
ズキ!

ズキ!
ズキ!
ズキ!

ズキ!
ズキ!
ズキ!

あ
あ
あ

ん



ひっ、んああっ……
あっ、ああああ……

く、うう……
めちや、吸いつく
も、もたない……っ

んあっ、あああ……

くっそ……まだまだ
楽しみたかったのに……
あんたの、よすぎるんだよ……



今度こそあんたも
気持ちよくさせてやるよ

ぞろ

あゝ♡

あ、くうんっ……
お、おじさん……
んっ、んん……
こ、ここ公園……

はぁ♡

分かってるよ
そんなことは
ああ、周りの人が
気づいたみたいだ

はぁ♡





甘美な電流が
ア●ルから
胸から走る
抗えない

もみゅゅ

もみゅゅ

あゝ♡

あゝ

あゝ

いいね
続けるよ

うん……

あゝ♡

あゝ

あ、あぁっ……
あんんっ！

ハッハッ

ほっほっ

んああ……あ、あああ
だ、ダメえ……ダメえっ……
い、イクう……イツちゃう
イツちゃううううう……

ほっほっ

あっ、あぁっ……
お、お尻い……
ケツ穴なのに
気持ちいい……
気持ちいいっ……！

こんなの
こんなの
初めてええ……

ハッハッ



絶頂の快楽が薄れた頃
快楽は別腹とばかりに
余韻をもっといいものに
しようと身体が疼いてた

ほふっ♡

ほふっ♡

ほふっ♡

はあん……
んっんっんっんっ……
そろそろ出そうですね

ほふっ♡

あ、ああ……
気持ちいい……
うまいよ……





は、はは……
なにをバカな……
おうっ……
で、出るっ……

びしょびしょ

カッパッ

カッパッ
カッパッ
カッパッ
カッパッ
カッパッ

カッパッ
カッパッ
カッパッ
カッパッ
カッパッ

悪くない
顔や髪の毛から流れ落ちてくる
青臭い液体の感触が
不思議と気持ちいい

フニャフニャ...

はあはあ、ん……
ん、ちゅっ……
はあ、おいし……

んっ♡

ハンカチで顔を拭ってもらい
男と別れたが
体はまだ、疼いていた



公園を出ると
道路わきに止まった
車の近くに
下卑た笑いで
こちらを見ている
男が2人いた

.....

俺が車に近づくと
男たちはスツと
車のドア開けた

んんっ.....!

んんん

んんん





あっ
はあんっ!

はは
いい声

あっ♡

あっ♡

あ、ああ……、こいつは
かなりの好きモノだっ

あ、ああっ……ああっ!
ああ、もっと
もっとしてえ……

んま♡

ズキッ
ズキッ
ズキッ

ズキッ
ズキッ

ズキッ
ズキッ

ズキッ
ズキッ

はは
めっちゃ
いいわ……

私も……んっ
ああ……
気持ちいい……

んっ♡

なんだ？
なにを見たんだ？

いっわぁ♡

あっ♡

かわいい顔して……
ん？
え、これって……

んっ♡

あっ♡

はま♡

後ろにいた男が
ファスナーを下ろす
音が聞こえた



んっ、あ……
ま、待って
待ってえ……

くくっ

ズッ
ズッ

んっ

うっ

んっ

あ、ぐっ……
うううっ……

んっ
んっ

んっ

くくっ
なごいっ
すじっ



まったくだな
すごく気持ちいい穴
してるから
優しくしてやろうと
思ってたのになっ

はぐうっ!?

そんなの
いらんだろ
こんな肉女っ

はぐうっ!

はぐうっ!

あ、あぐうっ……!



は、はあ……ああ……
つ、強い……んあ
あ、ああ……
壊れちゃううう……
私、私い……

はあ？
壊れるかよ
こんな、ギッチギチにさせて
気持ちいいんだろ？
ケツ穴と両方掘られて、さあ？

素直になっちまえて
同時がお望みなんだろ？

んあ……あつ
……はあんっ！

んあ……あつ



気持ちよくなってきた
……こいつやっぱ
最高で最低の女だ

は、はあ……んっ！
あああっ……
お尻もアソコも
気持ちいいっ
はああんっ！

ああ、ああ
そうだよなっ

あっ、あああ……
ダメえ……、イクッ
イツちやうう……

んあああ……
き、気持ちいい……
気持ちいいよお……

あ、あ

あ、あ



はあ、あ
はあ……
はあ……

はは
まだ締めてるよ
さすが淫乱

終わったばかりなのに
まだ欲しいってか

そんなん……

きゃ♡

きゃ♡

ん……♡

は……♡

ん……♡





ハハ

ん、くあつ
あ、あああああつ!

安心していいよ
きっちり満足させて
やるから

ああ、あんたから
求めてきてくれれば
遠慮なくできるっでもんさ

ま、待ってええ……
ちよつとでいい
休ませてええ……

ハハ

ん、ん

ん、ん

ん、ん

ん、ん

は？
ごまかさなくていいよ
休みたくなんかないだろ

こんなにケツ穴締めつけて
何言ってるんだ
そんながつつかなくても
満足させてやるって、なあっ！

あっ、あああああ……
イ、イクツ……イクウッ
あ、あああああ
あああああ……



あつ、あつ……あつ……
もお、ダメええ……
気持ちいいの
もお気持ちいいの
ダメえええ……

さすがの淫乱でも
ダウンみたいだな

そろそろ
俺も限界だ……

おっ……♡

おっ……♡

はあ……ああ……
もお、終わらせて……
く、狂っちゃう
狂っちゃう……



今日は休日なので
梨乃という女の痴態を痴女性を
広めるために
電車でオ●ニーすることにした

ああ……んんっ
気持ちいい……
気持ちいいよ……
あ、はあうんっ！

っ……
ま、丸見え……

あっ♡

あっ♡

な、なに
してんだよ……
あの女……

痴女ってやつか
こんな真昼間から
変態だな

はまっ♡





そうさ変態だよ
だったら遠慮なんて
いらないだろ？
さあ来いよ

あ、あっ、ああんっ！
もっと、もっと欲しい……
指より大きくてえ……
硬くてえ、熱いモノ……

んっ♡

どうせ
罨だろ……っ

あっ♡

さ、誘ってる
のか……？

あっ♡

フムッ
フムッ



あつ、ふあ……んっ……
もつと……いいモノ
欲しい、欲しいのお……

ああつ、ダメ
こんなんじゃ
足りない……
足りないよお……

うっ♡

ちゅっ♡♡

ちゅっ♡♡

ちゅっ♡♡

ちゅっ♡♡

うっ♡

ちゅっ♡♡

……くそ
やりてえ
けど……

おっ♡

誰1人として
俺に近づいてくる
男はいなかった



はあ、んっ、あああ……
だ、ダメえ……イクッ
イクイクッ……あッ
イツちやううううう……っ

ん!!ん!!ん!!ん!!ん!!ん!!



くそ……っ
エロい声
出しやがって

あ、ああああ……
イ、イツちやっただあ……
欲しかったのに、私……
欲しかったのに……
んっ、んああああ……

ほら♡

カキカキ♡

カキカキ♡

ほら♡

カキカキ♡

カキカキ♡

ほら
もう我慢なんて
できないだろ？
今度こそ男を見せてくれよ
スケベ共

た、立ったぞ

お前らは
勃ってるな

ばっ

く
ほあま

な、なにいつ……?!

おいおい……





ふふ
はやくう

誘ってるんだよ、な……
いや、でも……

しよ？

ぶくっ

きて……
アソコとお尻……
我慢できなく
なってる……

ふふ

ふふ

ふふ



お尻っ!?

ふひひ
興奮するだろ?
俺もだ

高揚を強める俺に
男達が近づいてくる

はあ……
おっきい……
硬くて
おいしそ……

あーっ♡

楽しませてね

ああ
最高だよ……

はあ……んっ！
ああ……んっ
や、これ、いい……
すごく
気持ちいいっ……！

あ
♡





あつ、あああ……
お、奥までできてるう……

わ、わたしのエッチな奥う
ゴツッゴツッ
た、たたかれてる……
うんっ、んあ、はあんっ!

はは、いい具合だよ
行き止まりを
突き上げるたびに
ギョ、ギョってる……

もっとそれ
やってくれよ
こっちも
思いつきり縮んで
吸いついてくるんだ

ほいよ
こう、かいっ

あ、いっ

あ、いっ

んあああああつ……！
いいいよ、すつごく……
うんんっ、んっ、んあつ
あ、ああ……お尻い……
圧迫されるうう……

圧迫してるのは
あんただよっ
ほんと
どうしようもないな

ひあつ!?
あ、ああああ……
そ、そんなあつ
言わないでえ……んあつ
あつ、あああんっ！

す、好きなのお……
ただエッチするのが
好きなのお……

あ、いっ

あ、いっ

あ、いっ



あまっ♡

あ、ああああ……
お、お尻い……ひうつ
んくっ、はあ、はあうっ!

あまっ♡

ダ、ダメえ……そんなにかき混ぜたらあ……
お尻い、気持ちよくなりすぎちゃう……
んんあっ!

エッチいお汁う……
止まんない
止まんない……

ズキッ!

ズキッ! ズキッ!

あまっ♡

それを
どうしようもないって
言うんだ、よっ

あまっ♡

あぁっ♡

分かってるさ
今、そのエッチなお汁を
かき出してあげるよ
そおらっ

あぁっ♡

んあ、ああああ……っ
んん……あ、あっ
あふっ、はあんっ！

はあ、んっ
はあ……
あ、あんっ！

ハハハ

ハハハ

ハハハ

あぁっ♡

ハハハ

くっ、ううっ……！

この……っ
く、あぁっ……
で、出そ……

あぁっ♡

それにしても
何度味わっても
気持ちがいいもんだな
まったく女ってのは
最高の生き物だよ

はっ〜♡

んっ……
あ、はあ、はあはあ……
足りない……

もっ……
もっともっ……
もっともっ……
恥ずかしく汚らしく……
交わりたい……

はっ〜♡

はっ
はっ
はっ

火照った身体のまま
脂ぎった中年男性に
近づいていった

っ……
な、なんだ君は
わたしに
なんの用だっ……!

ふふ
怯えなくても
大丈夫だよ?

ねえ、おじさん
私と気持ちいい
こと……、しよ

ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

おじさん
気持ちいい?

私の、いやらしい
アソコ……
ね、どう?

ちゅっ、ちゅば……
はあ、んっ、んんっ……
いいよね、おじさん

んんうっ!?!
ふあ……はあ
き、君……っ!

おじさん

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ





あ、あああんっ！
さ、さっき
イッたばかりだから……
すぐ、イッちゃいそ……
うんっ、んんっ！

私、おじさんの
男らしいところ見たいの
ダメ？

ッ……
ぶっぶっ……
ぶっぶっ……



ぐふふ
そう簡単には
イかせんぞ
いや、耐えろっ

はあああんっ!
や、やだ
おじさん……強い!

そんなにされたらあ
イツちゃやう、すぐに
イツちゃやうう……

おまっ♡♡



おっ♡

くう……
いい締めりだよ

オッサンが
ゴリゴリ擦るたびに
ケツがキュウキュウ
吸いついてきやがる

欲しかったんだろ
こっちにも、なっ!

おっ♡

おっ♡

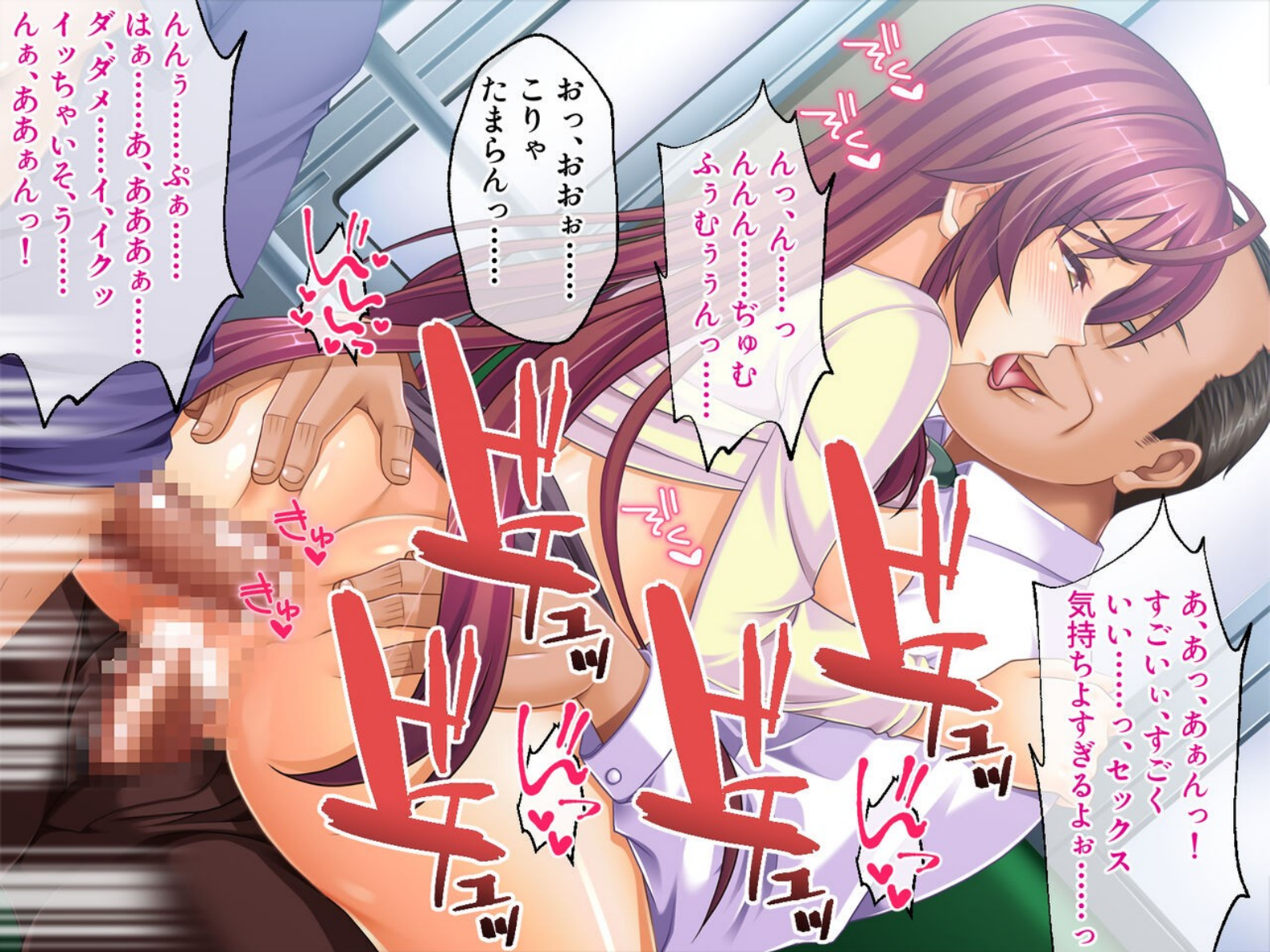
うん……
欲しかったのお……っ
あっ、ああんっ!

もっとなんとして……
お尻もアソコも
ぐっちやぐちやにい……

えぐって、ほじって
かき混ぜて……
気持ちよく、してえええ……

おっ♡

そんなの
言われるまでもない



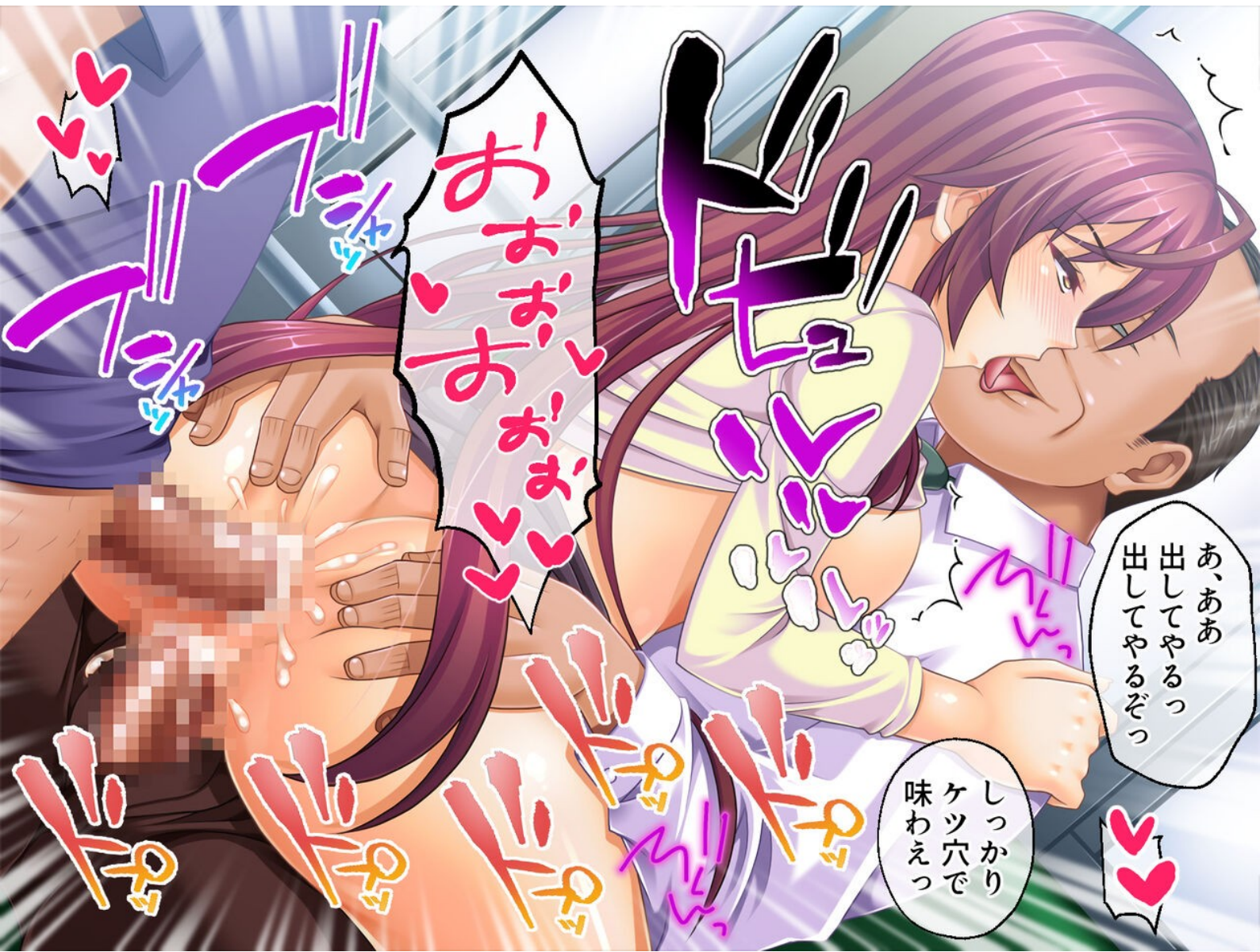
あ、あっ、ああんっ！
すじい、すじく
いい……っ、セックス
気持ちよすぎるよお……っ

んっ、ん……っ
んんん……ぢゅむ
ふうむうんっ……

おっ、おおお……
こりや
たまらんっ……

んんう……ふあ……
はあ……あ、あああ……
だ、ダメ……い、イクッ
イツちやいそ、う……
んあ、あああんっ！

Multiple instances of large red sound effects: **ドクドク** (Dokudoku) and **しゃん** (Shan).



おまおまおま

ドキュ

あ、ああ
出してやるっ
出してやるぞっ

しっかり
ケツ穴で
味わえっ

♡♡

♡♡♡

ケツ

ケツ

ケツ

ケツ

ケツ

ケツ

ケツ

ケツ

ケツ

なんて
吸いつきだ……っ
あ、くうっ……

んんうっ……!

イッたはずなのに
気持ちよく
なっただはずなのに
……足りない

ねえ……
もっと、シよ?

後ろにいる男達に声をかけ
みんなで一緒に電車を降りた





きゅん

きゅん

きゅん

きゅん

くっめちやくちや気持ちいいぞこの子……

ん、んっ……!

あぁ、逃がしたら後悔してたところだ

こいつは当たりだったな

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん



んうっ……
んんんっ！

くっ、あ、あああ
で、出ちまうっ……

んぢゆるう……
はあ、んっ
んんんう……

すごく気持ちいい
犯●れるって、最高

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



くうっ……
気持ちいい……

だ、出すぞ……っ



んっ……はあ、はあ……
んん、ふ、ふふ……
イツちやったあ……
き、気持ちよかったあ……

は、はは……
幸せそうな顔して

ああ
まったくだな

よん♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

朝になり
男たちの背中を見送っていると
後から懐かしい声がした

返して……!

もちろん
返してあげるよ
この身体

ど、どうすれば
戻るのっ!
教えて、教えてっ!

簡単だよ

俺は俺となっている
梨乃に近づき
耳打ちした



俺になった梨乃が
足早に去っていく
おそろくは
薬を隠してある場所に
向かうのだろう

それにしても
自分でこの身体を犯●なければ
いけないなんて、嘘だけど

男になれた
ちよっとした記念だ
梨乃……、ふひひっ

ぎゅぎゅ

それから
今まで作ってきた
人脈の男達に連絡を入れて
夕方の公園へと誘った



……来たわよ

それじゃ
始めるとしようか
梨乃ちゃんが男でする
最初で最後のセックスを

アロロ

ッ……なっ!!?
あ、あなた……っ



やりやすいだろ？
どうだ、自分の女を
真正面から
見てみた感想は？

いやらしいだろ
これがお前の割れ目だよ
ふひひ
エロすぎて声も出ないか？

おっぱい

ッ……
ふ、ふざけないで……っ
私の声真似しないで……！
クズッ！

ふふふ

んん

梨乃は手にしていた
瓶のキャップを開くと
一気にあおった



始めましょう……っ

はあ……んっ!

にゅん

にゅん

あっ♡

きゅ♡

な……ん……あ
な、なに……
これ……っ……
んあっ……んんっ!

なあんだ……
オ●ニーも
してなかったんだ
もったいない

にゅん

そ、その言い方、だと……
あ、あなたは……

当たり前じゃない

こ、この……
私の、私の身体をっ……
よくも、よくもおおお
おおおおおおおっ!

ブクブク
ブクブク
ブクブク
ブクブク

あ、っ♡

あ、っ♡

んっ……
あっ、あんっ!
いい、いい気持ちいいよ……っ
はあ、はああんっ!

殺すっ!
あんたは
どんなことをしても
私が、私が絶対に
殺してやるっ!

ふあんんっ!
んっ、はあ……
あんんっ!

あゝ♡

っ、喘ぐなっ!
私は、そんな
女じゃないっ!

あっ、あんんっ!
激し……んっ
か、感じる?

私の中あ、エッチいお汁でえ
いっぱいになってるんだよ……
んっ、んあっ……
あ、ふああああんっ!

あゝ♡

あゝ♡

ズキョウ

ズキョウ

ズキョウ

やめろ
やめろ
やめろお……っ!

あ、ああああっ！
もっと
もっとだよ……
あああつ！

黙れっ！

ああっ、もっと……！！
あ、んあああああつ！

ズン
ズン
ズン

黙れって言うてんだっ！
このクズがあつ……！！
くっ、あああああ……っ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン

あ
あ
あ

んんっ！
出すう？
出しちゃう？
きつとあなたの知らない
本当の自分を目にできるよ？

ハッ
ハッ
ハッ

あ
あ
あ



だ、黙れえっ……!!

んはあああああつ……!!
な、なんだ……まだまだ
元気じゃない……
ふふ、それじゃ、こっちも……

ひあ……っ……
あ、あつ、ぐっ……
ああああつ……

はき♡

気持ちいいでしょ?

あっ♡

あっ♡ あっ♡ あっ♡

あっ♡ あっ♡

あっ♡ あっ♡

ふざけんなっ!

あっ♡

あっ♡ あっ♡

きゅ♡きゅ♡

んっ♡

んあああつ！
あ、あああ……そ、それ
ダメ、ダメええ……あ、あつ！
イクツ、イクツちゃううらう……

この、クズツ！
クズツ！

私は、私はそんなに
いやらしくなんかないっ
あんたが仕込んだ
くだらない快樂なんかにつ
負けたりしないっ……！

ふひひっ
忘れるなよ
その言葉っ……
んっ、はあんっ！

わ、忘れるのですかっ……！
あ、ああっ……
な、なんか、出そ……



はあはあ……
んっ、ふ、ふふふ……
これで
計画は完了さ……

は？
そ、それって
どういう……

今に分かる
ふ、ふひひひ……

んっ……♡

んっ……♡

入り口の方から
たしかな靴音が
聞こえてきたのを最後に
俺は梨乃と一緒に深い闇の中で
意識を吸い込まれていった



ふひ
ふひひひひひ……

俺は完成した復讐に
笑みを浮かべながら
個室トイレから
外へと出て行った

なるほどな

そういうプレイ
なんだろうさ

今日はやけに
抵抗するんですね
先輩

んうっ、んっ！
んぶううっ！

イクイク

イクイク

イクイク

イクイク

イクイク

イクイク

イクイク

本当に
エッチで変態だね
梨乃ちゃん

ん……んぶあ……
はあ、はあ……
や、やめて、ください……

んんっ……んんっ
……んんぐううっ!!

あれ、もう
イッちゃうの？

それじゃあ
まず1回目
ってことで





くっ……
で、出る……

ああ、こっちもまだ
イクよっ
梨乃ちゃん……っ

サッ

ん

ドッ

サッ

ん

ん

ん

ん

ん

サッ

ん

ん



ゴッ

げほっ
げほっ
げほげほっ……!

カッ

もつとも、こんなのは
これから始まる
生き地獄の入り口だ
俺に与えた絶望を
お前も味わえよ

ふひ、ふひひっ………
なんて無様なんだ

びびび

びびび

カッ

はあ、はあ……
げほっ
な、なんで……
こんなこと……

なんでって？
毎日やってたこと
なんだけども

あれ？
先輩、なに
怯えてるんですか？

おかしいなあ……
セックス
大好きですよ

い、いや……
もう……もう許して……
お願い、お願い……

もう演技は
いいんだよ
梨乃ちゃん

それじゃ今度は
俺達が気持ちよくして
あげるからさ

んんぶあ……
た、助けて……
助けてえ……っ
んぐぶうううっ……

んっ……んんっ!
……あ、はああんっ!

ふ、ふひひっ……
新しい人生の幕開けだ

梨乃の喘ぎ声が聞こえ始めた
トイレから、俺は上機嫌で
出て行ったのだった

終



大人の
禁 SEXY 絵本

©スピンドル